

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

宮崎県

介護に外国人受け入れ 宮崎県が事業者向け説明会

2024/06/07

県は本県の介護業界における人材不足を解消しようと6日、「特定技能」の在留資格を持つ外国人と事業所とのマッチングを支援する事業者向け説明会を宮崎市のKITENビルで開いた。県の本年度新規事業。県内事業所から11人が参加し、受け入れに必要な準備や注意点を耳を傾けた。



宮崎交通 初めて整備部門に外国人技能実習生を受け入れ

2024/02/27

運転手だけではなく人手不足が深刻な自動車整備士。宮崎交通では初めて整備部門に受け入れた外国人技能実習生が27日から、実際の現場で業務にあたっています。宮崎交通が初めて外国人技能実習生として受け入れたのは、母国で自動車整備を学ぶ高校を卒業した19歳から22歳のインドネシア人の男性4人です。4人は今月、入社後、これまで研修を受けていて27日から路線バスなどの点検や修理を行う宮崎市の整備センターで初めて実際の業務にあたりました。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/miyazaki/20240227/5060017587.html>

介護職のネパール人技能実習生7名が入国 宮崎県の医療施設へ

2024/04/23

宮崎県の医療介護施設へ介護職の技能実習生として配属されます。最近は大阪でも10度後半ぐらい暖かい日が続いていますが、宮崎では20度を超す日もあります。朝晩は冷え込んで、寒暖差の激しい日もあるので体調管理、気を付けてください。といってもネパールで充分すぎるほど準備をしてきた彼女たちにとっては大した問題ではないかもしれませんね。まずは3年間頑張ってください。



<https://wfo-jp.com/post-3785/>

外国人技能実習生が日本での学びを弁論発表 都城

2024/02/23

本県と鹿児島県で働く外国人技能実習生による弁論発表会は18日、都城市の道の駅「都城NiQLL」であった。ミャンマーやベトナム出身の10人が、日本に来て学んだことや夢を流ちょうな日本語で語った



47都道府県プロフィール
2024年07月～2024年12月

宮崎県

約20mの斜面を滑落 ベトナム籍の外国人技能実習生(27)が死亡する労災事故 水力発電所の改修工事現場のトンネル内で乗り物のワイヤー切れる

2024/07/04

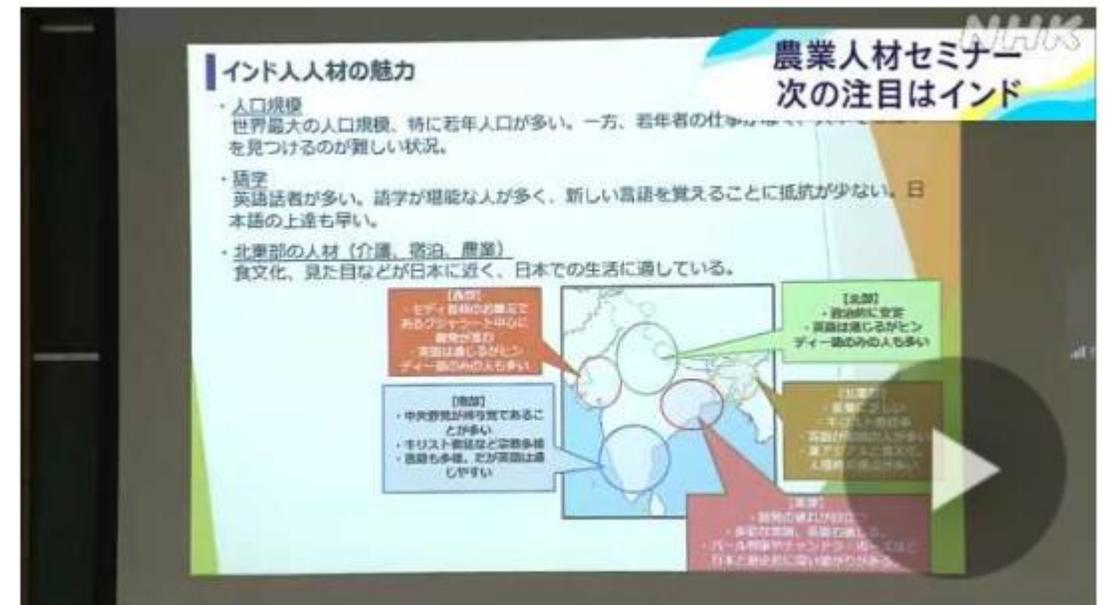
宮崎県綾町の水力発電所改修工事現場のトンネルの中で、トロッコのような乗り物のワイヤーが切れ、乗っていた作業員の男性が死亡する事故がありました。この事故で、滑落したベトナム籍の外国人技能実習生、チャン ヴァン トウさん(27歳)が全身を強く打ち、宮崎市内の病院に運ばれましたが、およそ2時間半後に死亡が確認されました。また、斜面の下にいた30代のベトナム人技能実習生が事故に巻き込まれ、足にケガをしました。警察によりますと、事故当時、現場付近で複数人が作業に当たっていたということで、警察が当時の状況や事故原因を詳しく調べています。



県内の農業分野にインドから人材を 宮崎県が初のセミナー開催

2024/11/08

県内の農業を支える外国人材は、現在はインドネシアやベトナム人が中心ですが、今後はインドから来てもらうケースが増えるかもしれません。県は8日、農業分野のインド人材について紹介する初めてのセミナーを開きました。高鍋町の農業大学校で開かれたセミナーには、県内の農家など、オンラインを含めておよそ100人が参加しました。県内の農業も、技能実習生をはじめとした外国人材に頼る部分が大きくなっていて、去年秋の時点で977人が働いています。



県内に住む外国人 9 5 9 2 人 過去最多

2024/07/26

県内に住む外国人の数はことし1月1日時点で9 5 9 2人で、前の年から1 4 0 0人以上増えて過去最多となりました。総務省の人口動態調査によりますと県内の日本人と外国人を合わせた総人口は1 0 5 万 8 7 1 0人で、去年の同じ時期と比べて1万1 2 8人、減りました。一方、総人口のうち外国人住民の数は去年と同じ時期から1 4 3 3人増えて9 5 9 2人でした。調査が始まった2 0 1 3年以来最も多く、この1 0年で2倍以上に増えています。



宮崎県で介護職員として働いてみませんか（ベトナム）

2024/07/19

県では、宮崎県で介護職員として働く魅力PR動画を制作しました。県内で働く外国人の方にインタビューを行い、宮崎県や介護の仕事の魅力を語っていただきました。海外の方にも宮崎県や介護の仕事の魅力が伝わる内容となっています！フル版はこちら→
・【フル版】宮崎県で介護職員として働いてみませんか（ベトナム）
令和6年度宮崎県事業「介護の仕事in Miyazaki魅力PR事業」



<https://www.youtube.com/watch?v=no771SVv8TE>

26市町村みやざき元気プロジェクト 椎葉村ウイーク

2020年、大型で非常に強い台風10号が九州各地を襲い、椎葉村では土砂災害が発生。建設会社の建物が流され、4人が犠牲となりました。災害で全てを失いながらも未来へと歩み続ける男性取材しました。**建設業「相生組」の相生秀樹社長**は、4年前の土砂災害で妻の勝子さん（当時68）と長男の泰孝さん（当時39）ベトナム人従業員2人を亡くし、その後に母親も立て続けに亡くしました。2019年、相生組はベトナムから2人の外国人技能実習生「**チャンコンロンさん（当時22）**」と「**グエンヒュートアンさん（当時21）**」を迎えました。2人は会社の寮で共同生活を送りながら 仕事にも一生懸命に取り組んでいました。

2024/07/01



宮崎県内外国人、初の1万人超 農業、建設、介護に需要

2024/12/26

本県で暮らす在留外国人数が今年初めて1万人の大台に達し、過去最多の1万494人（6月末時点）となったことが、出入国在留管理庁が今月公開した在留外国人統計で分かった。県は農業や建設、介護分野などでの外国人材のニーズの高まりなどを背景に2025年以降も県内の増加傾向は続くとみている。今年頻発した災害発生時の支援を含め、異国で安心して生活できる環境づくりに力を注ぐ。



宮崎県内外国人、初の1万人超 農業、建設、介護に需要

農業「特定技能」人材確保へ 宮崎県とベトナム送出機関が覚書

2024/12/14

農業分野で「特定技能」在留資格を持つベトナム人人材の受け入れ強化を目指し、県は13日、日本への送出機関となっているベトナム国立農業大投資開発サービス有限責任会社（ハノイ市）と人材確保・育成に関する覚書を結んだ。同大学の学生や卒業生など農業に精通する高度人材を擁する同社と協力することで、他県との獲得競争に対応する体制を目指す。県が外国の機関と特定技能人材確保の覚書を結ぶのは初めて。



https://www.the-miyanichi.co.jp/kennai/_81930.html